## 2-6 コンバインド発電導入(自家発電のコンバインド化)

### (技術の概要)

コンバインドサイクル発電は、ガスタービンによる発電と、その排ガスの熱エネルギーを蒸気タービン発電を複合して利用するシステムである。化石燃料のエネルギーを高温域から低温域まで無駄なく利用することにより、単一サイクルでは到達し得ない高い熱効率を得るものである。

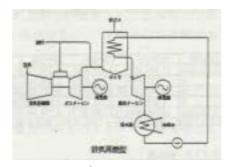


図2-5 コンバインド発電の概念図

### (エネルギー削減量の推計方法)

エネルギー削減量は、現在の汽力発電量をベースに将来の汽力発電増加動向及び、コンバインド発電への代替率を考えることにより推計を行った。

### (導入対象)

コンバインド発電が2000年以降、既存汽力発電に代替して導入されていくとした。導入率の設定は、困難であるが、2005年で5%、2010年で10%と想定した。

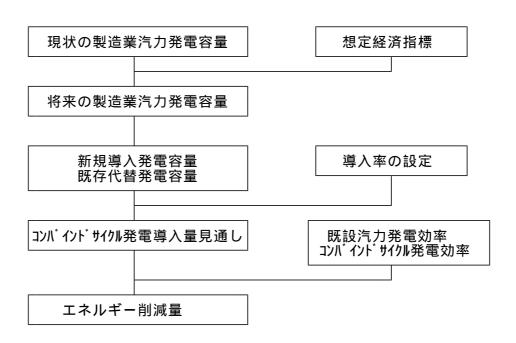


図2-6 コンバインド発電導入によるエネルギー削減量の算定

# 表2-12 コンバインド発電導入によるエネルギー削減量

見状の汽力発電設備容量							
汽力発電設備容量(製造業自家発電設備 河力発電設備容量(製造業自家発電設備	の容易会制)						
八// 完电設備谷里( 製垣末日冬完电設備 17,133,00		(ルカ・阿スカ双電池	備要覧 平成10年改正	断 U10 2 21 租左)			
11,133,00	9 KVV	(八万* 原丁万完电政	朋委见 干风IU干以止:	版,円10.3.31労(正)			
气力発電設備の							
C/J HERX INF/							
年 度		1998年	2000年	2005年	2010年	備考	
汽力発電設備容量	kW	17,133,009	17,778,288	18,447,226	19,277,642		
*1 2000年以降の発電設備容量は、固定				10,441,220	17,211,042	*1	
*1 2000年以降の発电試酬谷重は、回た	クー人におりる日	水光電電加半で来り	0どにより昇止.				
	ment	I ar also offer the CES (Adults) of the					
		ぶける自家発電増加率	2000 5	2005#	2010/7	fth tr	
	年 度	0/ /4=	~2000年	~2005年	~2010年	備考	
	増加率	%/年	1.87%	0.74%	0.88%		
							_
	-						
5上如相當1日 町石体林日の佐の	-						
气力新規導入量、既存代替量の算定		1000/	noootr	2005 <i>tr</i>	2010/7	Atta de	
年度		1998年	2000年	2005年	2010年	備考	
汽力発電設備容量	kW	17,133,009	17,778,288	18,447,226	19,277,642		
新規導入分(累積)	kW	0	645,279	1,314,217		(発電容量)-(1998年容量)	
既設代替分(累積)	kW	0	1,142,201	3,997,702	6,853,204		
新設·代替分合計(累積)	kW	0	1,787,480	5,311,920		(新規導入分)+(既設代替分)	
既存残存	kW	17,133,009	15,990,808	13,135,307	10,279,805	1998年以前に設置されたもの	
*2 既存発電設備は30年周期で更新され	ると設定. (既設作	<b>弋替分)=(1998年汽</b>	り発電容量)/30年×	(1998年からの年数).			
コンバインドサイクル発電への代替によるエネル	ギー削減量						
年 度		1998年	2000年	2005年	2010年	備 考	
コンハ・イント・発電効率	%	46	46	48		*3	
潜在導入可能量	MW	0	1,787	5,312	8,998	=新設・代替分合計	
コンハ'イント'導入率(対新設・代替分)	%	0.0	1.0	5.0	10.0	順次導入率が向上されると設定	
コンバイント、導入量(累積)	MW	0	18	266	900	(潜在導入量)×(導入率)	
*3「平成7年地球温暖化対策技術評価訴	査・産業部門」を	参考に設定.					
							$\overline{}$
年 度		1998年	2000年	2005年	2010年	備考	
	h/年	1998年	2000年 6.000	2005年	2010年		
年間全負荷時間	h/年 CWh/年	1998年 6,000	6,000	6,000	6,000	年間稼働時間を 6,000hと設定	
年間全負荷時間 年間発電量(累積)	GWh/年	6,000 0	6,000 107	6,000 1,594	6,000 5,399	年間稼働時間を 6,000hと設定 (コンバインド導入量)×(年間全負荷時間)	
年間全負荷時間 年間発電量(累積) コンハイント燃料消費量(累積)	GWh/年 Gcal/年	6,000 0 0	6,000 107 200,509	6,000 1,594 2,855,157	6,000 5,399 9,285,767	年間稼働時間を 6,000hと設定 (コンバインド導入量)×(年間全負荷時間) *4	
年間全負荷時間 年間発電量(累積) コンハイント燃料消費量(累積) 年間燃料削減量	GWh/年 Gcal/年 Gcal/年	6,000 0	6,000 107 200,509 97,020	6,000 1,594 2,855,157 1,565,731	6,000 5,399 9,285,767 5,691,277	年間稼働時間を 6,000トと設定 (コンパインド導入量)×(年間全負荷時間) *4 *5	
年間全負荷時間 年間発電量(累積) コンパンド燃料消費量(累積) 年間燃料削減量 年間CO2削減量	GWh/年 Gcal/年 Gcal/年 千t-CO2/年	6,000 0 0 0	6,000 107 200,509	6,000 1,594 2,855,157	6,000 5,399 9,285,767 5,691,277	年間稼働時間を 6,000hと設定 (コンバインド導入量)×(年間全負荷時間) *4	
年間全負荷時間 年間発電量(累積) コンパル*燃料消費量(累積) 年間燃料利減量 半間COZ削減量 *4 燃量消費量-年間発電量(GWh)/コ	GWh/年 Gcal/年 Gcal/年 Ft-CO2/年 ンパインド発電效	6,000 0 0 0 0 0 **×860(Gcal/GWh)	6,000 107 200,509 97,020 21	6,000 1,594 2,855,157 1,565,731 336	6,000 5,399 9,285,767 5,691,277	年間稼働時間を 6,000トと設定 (コンパインド導入量)×(年間全負荷時間) *4 *5	
年間全負荷時間 年間発電量 (累積) コンパイン総制滑費量 (累積) 年間悠料削減量 年間CO2削減量 4 燃量消費量=年間発電量 (GWh)/= 85 後来代力発電設備の発電効率を31%	GWh/年 Gcal/年 Gcal/年 千t-CO2/年 ンパインド発電気 と設定、コンパイント	6,000 0 0 0 0 1率×860 (Gcal/GWh) 'サイクル発電の発電効率	6,000 107 200,509 97,020 21 3との差により燃料削減	6,000 1,594 2,855,157 1,565,731 336 量を算定.	6,000 5,399 9,285,767 5,691,277	年間稼働時間を 6,000トと設定 (コンパインド導入量)×(年間全負荷時間) *4 *5	
年間全負荷時間 年間発電量 累積) コンパイパ燃料消費車(累積) 年間燃料削減量 年間CO2削減量 *4 燃量消費量 年間発電量(GWh)/コ *6 後来行力発電設備の発電効率を31% 年間脱料削減量 年間発電量(GWh)/	GWh/年 Gcal/年 Gcal/年 手t-CO2/年 ンバインド発電効 と設定、コンパイト h) / 既存発電効	6,000 0 0 0 0 1率×860 (Gcal/GWh) 'サイクル発電の発電効率	6,000 107 200,509 97,020 21 3との差により燃料削減	6,000 1,594 2,855,157 1,565,731 336 量を算定.	6,000 5,399 9,285,767 5,691,277	年間稼働時間を 6,000トと設定 (コンパインド導入量)×(年間全負荷時間) *4 *5	
年間全負荷時間 年間発電量 県籍的 コンパント燃料消費重(累積) 年間燃料利減量 年間CO2削減量 *4 燃量消費量-年間発電量(GWh)/コ *5 従来だ力発電設備の発電効率を37% 年間燃料利減量-年間等電量(GWh/ *6 燃料を1.NGと設定、CO2原単位は、(	GWh/年 Gcal/年 Gcal/年 手t-CO2/年 ンバインド発電効 と設定、コンハイント h)/既存発電効 0.2146g-C/kcal.	6,000 0 0 0 0 0 1率×860 (Gcal/GW物) サイケル発電の発電効等 率(31%)×860 (Gcal/G	6,000 107 200,509 97,020 21 3との差により燃料削減 Wh) ーコンパインド燃料	6,000 1,594 2,855,157 1,565,731 336 量を算定. 料消費量(Gcal)	6,000 5,399 9,285,767 5,691,277 1,221	年間稼働時間を 6,000トと設定 (コンパインド導入量)×(年間全負荷時間) *4 *5	
年間全負荷時間 年間発電量 累積) コンパイパ燃料消費車(累積) 年間燃料削減量 年間CO2削減量 *4 燃量消費量 年間発電量(GWh)/コ *6 後来行力発電設備の発電効率を31% 年間脱料削減量 年間発電量(GWh)/	GWh/年 Gcal/年 Gcal/年 手t-CO2/年 ンバインド発電効 と設定、コンハイント h)/既存発電効 0.2146g-C/kcal.	6,000 0 0 0 0 1率×860 (Gcal/GWh) 'サイクル発電の発電効率	6,000 107 200,509 97,020 21 3との差により燃料削減	6,000 1,594 2,855,157 1,565,731 336 量を算定. 料消費量(Gcal)	6,000 5,399 9,285,767 5,691,277	年間稼働時間を 6,000トと設定 (コンパインド導入量)×(年間全負荷時間) *4 *5	0.2146
年間全負荷時間 年間発電量 累積) 中間幾種的減量 年間CO2的減量 *4 核量消費量一年間発電量(GWh)/コ 等6 後来行力発電設備の発電効率を31% 年間燃料削減量一年間発電量(GWh)/ *6 燃料を1.NGと設定 CO2原単位は、( I.NGCO2原単位:	GWh/年 Gcal/年 Gcal/年 千t-CO2/年 ンパインド発電效 と設定、コンパイン と設定、コンパイン ト) / 既存発電効 1,2146g-C/kcal. 2.79	6,000 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	6,000 107 200,509 97,020 21 3との差により燃料削減 Wh) ーコンパインド燃料	6,000 1,594 2,855,157 1,565,731 336 量を算定. 料消費量(Gcal)	6,000 5,399 9,285,767 5,691,277 1,221	年間稼働時間を 6,000トと設定 (コンパインド導入量)×(年間全負荷時間) *4 *5	0.2146
年間全負荷時間 年間発電量 累積) コンパイパ燃料消費重(累積) 年間燃料消費重(累積) 年間医CO2削減量 *4 燃量消費量 年間発電量(GWh)/コ *5 従来汽力発電設備の発電効等を31%。 年間燃料削減量 年間発電量(GWh/ *6 燃料を1.NGと設定 CO2原単位は、6 I.NGCO2原単位:	GWh/年 Gcal/年 Gcal/年 千t-CO2/年 ンパインド発電效 と設定、コンパイン と設定、コンパイン ト) / 既存発電効 1,2146g-C/kcal. 2.79	6,000 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	6,000 107 200,509 97,020 21 3との差により燃料削減 Wh) ーコンパインド燃料	6,000 1,594 2,855,157 1,565,731 336 量を算定. 料消費量(Gcal)	6,000 5,399 9,285,767 5,691,277 1,221	年間稼働時間を 6,000トと設定 (コンパインド導入量)×(年間全負荷時間) *4 *5	0.2146
年間全負荷時間 年間発電量 累積) 中間幾種的減量 年間CO2的減量 *4 核量消費量一年間発電量(GWh)/コ 等6 後来行力発電設備の発電効率を31% 年間燃料削減量一年間発電量(GWh)/ *6 燃料を1.NGと設定 CO2原単位は、( I.NGCO2原単位:	GWh/年 Gcal/年 Gcal/年 千t-CO2/年 ンパインド発電效 と設定、コンパイン と設定、コンパイン ト) / 既存発電効 1,2146g-C/kcal. 2.79	6,000 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	6,000 107 200,509 97,020 21 3との差により燃料削減 Wh) ーコンパインド燃料	6,000 1,594 2,855,157 1,565,731 336 量を算定. 料消費量(Gcal)	6,000 5,399 9,285,767 5,691,277 1,221	年間稼働時間を 6,000トと設定 (コンパインド導入量)×(年間全負荷時間) *4 *5	0.2146
年間全負荷時間 年間発電量 保箱) コンパンド燃料消費量 (累積) 年間整種利強量 年間CO2削減量 *4 燃量消費量 年間発電量 (GWh)/コ *5 後来汽力発電設備の発電分率を31%。 年間既料削減量 年間発電量(GWh/ *6 燃料を1.NGと設定 CO2原単位は、6 1.NGCO2原単位: 削減量・発電容量を業種別汽力発電容量の	GWh/年 Gcal/年 Gcal/年 千t-CO2/年 ンパインド発電效 と設定、コンパイン と設定、コンパイン ト) / 既存発電効 1,2146g-C/kcal. 2.79	6,000 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	6,000 107 200,509 97,020 21 3との差により燃料削減 Wh) ーコンパインド燃料	6,000 1,594 2,855,157 1,565,731 336 量を算定. 料消費量(Gcal)	6,000 5,399 9,285,767 5,691,277 1,221	年間稼働時間を 6,000トと設定 (コンパインド導入量)×(年間全負荷時間) *4 *5	0.2146
年間全負荷時間 中間発電監保箱句 中間発電監保箱句 年間燃料刊減嚴 中間CO2削減監 中間CO2削減監 中間CO2削減監 年間然料刊減量 年間発電量(GWh)/二 *5 從来汽力発電設備の発電効率を31% 年間燃料刊減量。年間発電量(GWh) 6 燃料を1、NGと設定 CO2原単位は、6 I.NGCO2原単位、6 「NGCO2原単位」( 「大級ガス系)	GWh/年 Gcal/年 Gcal/年 千七-CO2/年 ンパイント発電数 と設定、コンパイント h)/既存発電効 .2146g-C/kcal 2.79	6,000 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	6,000 107 200,509 97,020 21 3との差により燃料削減 Wh) ーコンパインド燃料 ×発熱量	6,000 1,594 2,885,157 1,565,731 336 量を算定. 13000	6,000 5,399 9,285,767 5,691,277 1,221 kcal/kg =	年間稼働時間を 6,000かと設定 (コンバインド導入量)×(年間全負荷時間) *4 *5	0.2146
年間全負荷時間 中間発電量 累積) シハイン 保港 消費量 (累積) 年間然料的減量 年間CO2削減量 4 悠量消費量一年間発電量 (GWh) / つ 5 後来代力発電設備の発電効率を31% 年間然料削減量一年間発電量(GWh / *6 燃料を1.NGと設定。CO2原単位は、6 I.NGCO2原単位: (天然ガス系) 年度	GWh/年 Gcal/年 Gcal/年 千七-CO2/年 ンパインド発電効 と設定、コンパイン かし、近年発電効 0.2146g-C/kcal 2.79 様成比で割り振ると	6,000 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	6,000 107 200,509 97,020 21 3との差により燃料削減 Wh) ーコンパインド燃料 ×発熱量	6,000 1,594 2,885,187 1,565,731 336 量を算定. 料消費量(Gcal)	6,000 5,399 9,285,767 5,691,277 1,221 kcal/kg = 2010年 3,340	年間稼働時間を 6,000hと設定 (コンバインド導入量)×(年間全負荷時間) *4 *5 *6	0.2146
年間全負荷時間 年間発電量 (累積) コンパント燃料消費量 (累積) 中間整制削減量 年間CO2削減量 44 燃量消費量 中間発電量 (GWh)/コ 多6 使来行力発電設備の発電効率を31% 年間燃料削減量 年間発電量 (GWh/ 86 燃料を1.NGと設定。CO2原単位は、( I.NGCO2原単位: (天然ガス系) 年度 鉄鋼	GWh/年 Gcal/年 Gcal/年 手t-CO2/年 ンパインド発電效 と設定。コンパイン h)/既存発電効 0.2146g-C/kcal. 2.79 構成比で割り振ると 構成比 58.7%	6,000 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	6,000 107 200,509 97,020 21 3との差により燃料削減 Wh) ーコンパインド燃料 ×発熱量 2000年 57	6,000 1,594 2,855,157 1,565,731 336 量を算定. 料消費量(Gcal) 13000	6,000 5,399 9,285,767 5,691,277 1,221 kcal/kg = 2010年 3,340	年間稼働時間を 6,000hと設定 (コンバインド導入量)×(年間全負荷時間) *4 *5 *6 (備 考 10°9kcal 10°9kcal	0.2146
年間全負荷時間 年間発電旅 累積) コンパイン保持消費量(累積) 年間燃料門減量 年間CO2削減量 年間CO2削減量 4 燃量消費量=年間発電量(GWh)/コ 55 従来で力発電設備の発電効率を31% 年間燃料門減量・年間発電量(GWh/ 1.NGCO2原単位は、 I.NGCO2原単位は、 (天然ガス系) 年度 鉄鋼 集電容量を業種別汽力発電容量の棒 (天然ガス系) 年度 鉄鋼	GWh/年 Gcal/年 モt-CO2/年 ンパイント発電数 上設定・ユンパイント h) / 既存発電効 .2146g-C/kcal 2.79 が成比で割り振ると 構成比 16.58 0.08	6,000 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	6,000 107 200,509 97,020 21 3との差により燃料削減 Wh) ーコンパインド燃料 ×発熱量 2000年 57	6,000 1,594 2,885,187 1,565,731 336 量を算定. 計消費量(Gcal) 13000 2005年 919 258	6,000 5,399 9,285,767 5,691,277 1,221 kcal/kg = 2010年 3,340	年間稼働時間を 6,000hと設定 (コンバインド導入量)×(年間全負荷時間) *4 *5 *6 (備 考 10'9kcal 10'9kcal 10'9kcal	0.2146
年間全負荷時間 中間発電量 (累積) 中間発電量 (累積) 中間然種的接触 年間(CO2削減量 *4 炫量消費量 中間発電量(GWh)/コ *5 後来充力発電設備の発電効率を31% 年間燃料削減量 -年間発電量(GWh/ *6 燃料を1.NGと設定 CO2原単位は、( I.NGCO2原単位: (天然ガス系) 年度 鉄鋼 窯整 窯業 紙・バルブ 化学工業	GWh/年 Gcal/年 千t-CO2/年 テたてO2/年 テンパインド発電の 上設定・エッパートント 力/既存発電の 1,2146g-C/kcal 2,79 様成比で割り振ると 構成比 58.7% 16.5% 0.0%	6,000 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	6,000 107 200,509 97,020 21 3との差により燃料削減 Wh) ーコンパインド燃料 × 発熱量 2000年 57 16 0	6,000 1,594 2,885,157 1,565,731 336 量を算定. 料消費量(Gcal) 13000 2005年 919 258 0 0	6,000 5,399 9,285,767 5,691,277 1,221 kcal/kg = 2010年 3,340 940 0	年間稼働時間を 6,000hと設定 (コンバインド導入量)×(年間全負荷時間) *4 *5 *6 (備 考 10 9 kcal 10 9 kcal 10 9 kcal 10 9 kcal	0.2146
年間全負荷時間 中間発電監保網句 コンパイン保勢計算量(累積) 年間燃料刊減量 中間CO2削減量 ・ 特別 生物	GWh/年 Gcal/年 テレーCO2/年 シバインド発電效 と設定: コンパイント が定年発電効 0.2146g-C/kcal. 2.79 様成比で割り振ると 構成比 58.7% 16.5% 0.0% 0.0%	6,000 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	6,000 107 200,509 97,020 21 3との差により燃料削減 Wh) ーコンパインド燃料 ×発熱量 2000年 57 166 6	6,000 1,594 2,885,187 1,565,731 336 量を算定. 斗消費量(Gcal) 13000 2005年 919 258 0 0 43	6,000 5,399 9,285,767 5,691,277 1,221   kcal/kg = 2010年 3,340 0 0 0 155	年間稼働時間を 6,000hと設定 (コンパインド導入量)×(年間全負荷時間) *4 *5 *6 (編 考 10°9kcal 10°9kcal 10°9kcal 10°9kcal 10°9kcal	0.2146
年間全負荷時間 年間発電量 累積) コハイン保険村持費量(累積) 年間医20門被量 年間CO2門被量 ・4 控量消費量=年間発電量(GWh)/コ ・5 後来代力発電設備の発電効率を31% 年間燃料制減量=年間発電量(GWh/ ・6 燃料を1.NGと設定。CO2原単位は、 I.NGCO2原単位は、 「大弦ガス系) 年度 鉄鋼 軍整 乗電容量を業種別汽力発電容量の を 鉄鋼 電整 業業 業業 電 、バルブ 化学工業 全属機械 非販金属	GWh/年 Gcal/年 Ft-CO2/年 ンパイント発電変 した数定。シッパイント h) / 既存発電効 .2146g-C/kcal 2.79 様成比で割り振ると 構成比 58.7% 16.58 0.0% 2.78	6,000 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	6,000 107 200,509 97,020 21 3との差により燃料削減 Wh) ーコンパインド燃料 ×発熱量 2000年 57 16 0 0	6,000 1,594 2,885,157 1,565,731 336 量を算定. 計消費量(Gcal) 13000 2005年 919 258 0 0 0 43	6,000 5,399 9,285,767 5,691,277 1,221 kcal/kg = 2010年 3,340 940 0 0 155 157	年間稼働時間を 6,000hと設定 (コンバインド導入量)×(年間全負荷時間) *4 *5 *6 *6 (備 考 10*9 kcal 10*9 kcal 10*9 kcal 10*9 kcal 10*9 kcal 10*9 kcal	0.2146
年間全負荷時間 中間発電量 累積) コンパン/ 地格計費量 (累積) 年間然料的製量 年間CO2削減量 4 然量消費量 年間発電量 (GWh) /つ *5 後来充力発電設備の発電効率を31% 年間燃料削減量 年間発電量 (GWh) / *6 燃料を1.NGと設定。CO2原単位は、6 1.NGCO2原単位 (天然ガス系) 年度 鉄調 憲章、霊業 紙・バルブ 化学工業 全属機械 食品	GWh/年 Gcal/年 Ft-CO2/年 デインド発電効 シバインド発電効 1.2146g-C/kcal 2.79 規模比で割り振ると 構成比 58.7% 16.5% 0.0% 2.7%	6,000 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	6,000 107 200,509 97,020 3との差により燃料削減 Wh) ーコンパインド燃料 × 発熱量 2000年 57 16 0 0 0	6,000 1,594 2,885,187 1,565,731 336 量を算定. 料消費量(Gcal) 13000 2005年 919 258 0 0 0 43 43 43	6,000 5,399 9,285,767 5,691,277 1,221 kcal/kg = 2010年 3,340 940 0 0 155 157	年間稼働時間を 6,000hと設定 (コンバインド導入量)×(年間全負荷時間) *4 *5 *6 *6 (前・9 kcal 10・9 kcal 10・9 kcal 10・9 kcal 10・9 kcal 10・9 kcal 10・9 kcal 10・9 kcal 10・9 kcal 10・9 kcal	0.2146
年間全負荷時間 中間発電監保網句 コンパイン保勢計算量(累積) 年間燃料刊減量 中間CO2削減量 ・ 4 燃量消費量 - 年間発電量(GWh)/コ *5 従来だ力発電設備の発電効率を31% 年間燃料刊減量 - 年間発電量(GWh/ *6 燃料を1、NGと設定 CO2原単位は、6 1、NGCO2原単位は、6 「天然ガス系」 年度 鉄調 高変・窓業 紙・パルブ 化学工業 全属機械 非飲金属 食品 機種	GWh/年 Gcal/年 テt-CO2/年 シバインド発電数 と設定: コンパント り/医存発電効 0.2146g-C/kcal 2.79 が成比で割り振ると 構成比 58.7% 16.5% 0.0% 2.78 2.88 8.78 8.8.78 10.3%	6,000 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	6,000 107 200,509 97,020 21 3との差により燃料削減 Wh) - コンパインド燃料 ×発熱量 2000年 57 16 0 0 0 3 3 3 3	6,000 1,594 2,885,157 1,565,731 336 量を算定. 計消費量(Gcal) 13000 2005年 919 258 0 0 0 43	6,000 5,399 9,285,767 5,691,277 1,221 	年間稼働時間を 6,000hと設定 (コンパインド導入量)×(年間全負荷時間) *4 *5 *6 (10°9kcal 10°9kcal 10°9kcal 10°9kcal 10°9kcal 10°9kcal 10°9kcal 10°9kcal 10°9kcal 10°9kcal 10°9kcal 10°9kcal	0.2146
年間全負荷時間 年間発電旅 累積) ・	GWh/年 Gcal/年 Ft-CO2/年 ンパイント発電変 .2146g-C/kcal .2.79 が成比で割り振ると 構成比 58.7% 16.58 0.08 2.78 2.88 8.78 10.38	6,000 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	6,000 107 200,509 97,020 21 3との差により燃料削減 Wh) ーコンパインド燃料 ×発熱量 2000年 57 16 0 0 3 3 3 8 10 10	6,000 1,594 2,885,157 1,565,731 336 量を算定. 計消費量(Gcal) 13000 2005年 919 258 0 0 43 43 43 136 162	6,000 5,399 9,285,767 5,691,277 1,221  kcal/kg =  2010  3,340 0 0 155 157 495 589	年間稼働時間を 6,000hと設定 (コンバインド導入量)×(年間全負荷時間) *4 *5 *6  10°9kcal	0.2146
年間全負債時間 中間発電監保網前 中間発電監保網前 中間燃料刊減量 中間COP削減量 中間COP削減量 ・ 4 燃量消費量 - 年間発電量(GWh) / 二 *5 従来で力発電設備の発電効率を31% 年間燃料刊減量 - 年間発電量(GWh) *6 燃料を1、NGと設定 CO2原単位は、6 1、NGCO2原単位 1、NGCO2原単位 (天然ガス系) 年度 鉄調 運業・窓業 紙パルプ 化学工業 全属機械 非飲金属 食品 級維	GWh/年 Gcal/年 テt-CO2/年 シバインド発電数 と設定: コンパント り/医存発電効 0.2146g-C/kcal 2.79 が成比で割り振ると 構成比 58.7% 16.5% 0.0% 2.78 2.88 8.78 8.8.78 10.3%	6,000 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	6,000 107 200,509 97,020 21 3との差により燃料削減 Wh) - コンパインド燃料 ×発熱量 2000年 57 16 0 0 0 3 3 3 3	6,000 1,594 2,885,187 1,565,731 336 量を算定. 料消費量(Gcal) 13000 2005年 919 258 0 0 0 43 43 43	6,000 5,399 9,285,767 5,691,277 1,221  kcal/kg =  2010  3,340 0 0 155 157 495 589	年間稼働時間を 6,000hと設定 (コンパインド導入量)×(年間全負荷時間) *4 *5 *6 (10°9kcal 10°9kcal 10°9kcal 10°9kcal 10°9kcal 10°9kcal 10°9kcal 10°9kcal 10°9kcal 10°9kcal 10°9kcal 10°9kcal	0.2146
年間全負債時間 年間発電監保網前 中間発電監保網前 年間燃料刊減嚴 年間(20)的減監 年間(20)的減監 年間燃料刊減嚴 年間等電景(GWh)/二 *5 従来产力発電設備の発電効率を31% 年間燃料刊減監・年間発電景(GWh) 6 燃料をLNGと設定。CO2原単位は、6 LNGCO2原単位 1、NGCO2原単位 (天然ガス系) 年度 鉄側 選業・需業 振バルブ 化学工業 全属機械 非飲金属 負品 繊維 その他製造 合計	GWh/年 Gcal/年 Ft-CO2/年 ンパイント発電変 .2146g-C/kcal .2.79 が成比で割り振ると 構成比 58.7% 16.58 0.08 2.78 2.88 8.78 10.38	6,000 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	6,000 107 200,509 97,020 21 3との差により燃料削減 Wh) ーコンパインド燃料 ×発熱量 2000年 57 16 0 0 3 3 3 8 10 10	6,000 1,594 2,885,157 1,565,731 336 量を算定. 計消費量(Gcal) 13000 2005年 919 258 0 0 43 43 43 136 162	6,000 5,399 9,285,767 5,691,277 1,221  kcal/kg =  2010  3,340 0 0 155 157 495 589	年間稼働時間を 6,000hと設定 (コンバインド導入量)×(年間全負荷時間) *4 *5 *6  10°9kcal	0.2146
年間全負荷時間 年間発電監保網的 コンパインド接付滑費量(果積) 年間燃料門減量 年間CO2削減量 年間燃料門減量 年間発電量(GWh)/コ *5 従来で力発電設備の発電効率を31% 年間燃料門減量・年間発電量(GWh) *6 燃料を1.NGと設定。CO2原単位は、1.NGCO2原単位は、1.NGCO2原単位は、使用数量、全間発電等量の動 (天然ガス系) 年度 鉄鋼 塞業 窯業 紙・パルプ 化学工業 全属機械 非球金属 食品 繊維 その他製造 合計 (発電導入量)	GWh/年 Gcal/年 Ft-CO2/年 ンパイント発電変 .2146g-C/kcal .2.79 が成比で割り振ると 構成比 58.7% 16.5% 0.0% 2.78 2.8% 8.7% 10.3%	6,000 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	6,000 107 200,509 97,020 21 3との差により燃料削減 Wh) ーコンパインド燃料 ×発熱量 2000年 57 16 0 0 3 3 3 8 10 0 97	6,000 1,594 2,885,157 1,565,731 336 量を算定. 斗消費量(Gcal) 13000 2005年 919 258 0 0 0 4 4 3 1366 162 4 1,566	6,000 5,399 9,285,767 5,691,277 1,221  kcal/kg =  2010  3,340 0 0 0 155 157 495 5,691	年間稼働時間を 6,000hと設定 (コンバインド導入量)×(年間全負荷時間) *4 *5 *6 *6 *6 *6 *6 *6 *6 *6 *6 *6 *6 *6 *6	0.2146
年間全負荷時間 年間発電量 保幕的 中間発電量 保幕的 中間発電量 保幕的 中間然利的被責 年間CO2 削減量 4 悠量消費量 - 年間発電量 (GWh) /つ *5 後来代力発電設備の発電効率を31% 年間燃料削減量 - 年間発電量 (GWh) /の *6 燃料を1.NGと設定 - CO2原単位は、6 1.NGCO2原単位は、6 (天然ガス系) 年度 数卿 年度 数卿 金素・器素 紙・バルブ 化学工業 全属機械 非致金属 食品 繊維 を出ると表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表	GWh/年 Gcal/年 千t-CO2/年 ンパインド発電効 と設定・2ッパーンド発電効 1.2146g-C/kcal 2.79 放比で割り振ると 構成比 58.78 16.58 0.08 2.78 10.38 8.78 10.38 10.08	6,000 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	6,000 107 200,509 97,020 21 3との差により燃料削減 Wh) ーコンパインド燃料 ×発熱量 2000年 57 16 0 0 0 3 3 8 10 0 97	6,000 1,594 2,885,187 1,565,731 336 量を算定. 料消費量(Gcal) 13000 2005年 919 258 0 0 43 43 136 162 4 1,566	6,000 5,399 9,285,767 5,691,277 1,221 kcal/kg = 2010年 3,340 940 0 0 155 157 495 5,691	年間稼働時間を 6,000hと設定 (コンバインド導入量)×(年間全負荷時間) *4 *5 *6  10°9kcal	0.2146
年間全負債時間 年間発電監保網前 中間発電監保網前 年間燃料刊減嚴 年間(20)的減監 年間(20)的減監 年間燃料刊減嚴 年間発電量(GWh)/二 *5 従来产力発電設備の発電効率を31% 年間燃料刊減監 年間発電量(GWh) 6 燃料をLNGと設定 CO2原単位は、6 LNGCO2原単位 1.NGCO2原単位 (天然ガス系) 年度 鉄鋼 選業・窯業 紙バルブ 化学工業 金属機械 非飲金属 食品 繊維 その他製造 合計 (発電導入量) 年度 鉄鋼	GWh/年 Gcal/年 テt-CO2/年 シバインド発電効 と設定: コッパイン h) /既存発電効 .2146g-C/kcal 2.79 放比で割り振ると 構成比 58.7% 16.5% 0.0% 2.78 2.8% 10.3% 10.3% 10.3%	6,000 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	6,000 107 200,509 97,020 21 3との差により燃料削減 Wh) - コンパインド燃料 ×発熱量 2000年 57 16 0 0 3 3 3 10 0 97	6,000 1,594 2,855,157 1,565,731 336 量を算定. 計消費量(Gcal) 13000 2005年 919 258 0 0 43 43 43 136 162 4 1,566	6,000 5,399 9,285,767 5,691,277 1,221   kcal/kg = 2010年 3,340 0 0 0 155 157 495 589 15 5,691 2010年 528	年間稼働時間を 6,000hと設定 (コンパインド導入量)× (年間全負荷時間) *4 *5 *6  「10°9kcal 10°9kcal	0.2146
年間全負債時間 年間発電監保網的 中間発電監保網的 年間然和計算量(果積) 年間燃料門減量 年間CO2的減量 4 燃量消費量=年間発電量(GWh)/コ 55 従来だ力発電設備の発電効率を31% 年間燃料門減量=年間発電量(GWh)/ 66 燃料を1.NGと設定。CO2原単位は、(I.NGCO2原単位は、(I.NGCO2原単位は、(I.NGCO2原単位は、(I.NGCO2原単位は、(I.NGCO2原単位は、(天然ガス系)) 年度 鉄鋼 塞業 窓業 紙・パルプ 化学工業 全属機械 非狭金属 食品 繊維 その他製造 合計 (発電導入量) 年度 鉄鋼 塞要・密業	GWh/年 Gcal/年 千t-CO2/年 ンパインド発電効 と設定・2ッパーンド発電効 1.2146g-C/kcal 2.79 放比で割り振ると 構成比 58.78 16.58 0.08 2.78 10.38 8.78 10.38 10.08	6,000 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	6,000 107 200,509 97,020 21 3との差により燃料削減 Wh) ーコンパインド燃料 ×発熱量 2000年 57 16 0 0 0 3 3 8 10 0 97	6,000 1,594 2,885,187 1,565,731 336 量を算定. 料消費量(Gcal) 13000 2005年 919 258 0 0 43 43 136 162 4 1,566	6,000 5,399 9,285,767 5,691,277 1,221   kcal/kg = 2010年 3,340 0 0 0 155 157 495 589 15 5,691 2010年 528	年間稼働時間を 6,000hと設定 (コンバインド導入量)×(年間全負荷時間) *4 *5 *6  10°9kcal	0.2146
年間全負荷時間 年間発電監保網的 中間発電監保網的 年間燃料列號前費量(累積) 年間燃料列號嚴 中間CO2削減監 中間CO2削減監 中間CO2削減監 年間発電量(GWh)/コ *5 徒来产力発電設備の発電効率を31% 年間燃料利減監 - 年間発電量(GWh) 6 燃料を1.NGCの2原単位は、6 1.NGC02原単位は、6 1.NGC02原単位は、6 (天然ガス系) 年度 鉄調 霊変・霊変 振バルブ 化学工業 金属機械 非致金属 食品 繊維 その他製造 合計 (発電導入量) 年度 鉄鋼	GWh/年 Gcal/年 テt-CO2/年 シバインド発電効 と設定: コッパイン h) /既存発電効 .2146g-C/kcal 2.79 放比で割り振ると 構成比 58.7% 16.5% 0.0% 2.78 2.8% 10.3% 10.3% 10.3%	6,000 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	6,000 107 200,509 97,020 21 3との差により燃料削減 Wh) - コンパインド燃料 ×発熱量 2000年 57 16 0 0 3 3 3 10 0 97	6,000 1,594 2,855,157 1,565,731 336 量を算定. 計消費量(Gcal) 13000 2005年 919 258 0 0 43 43 43 136 162 4 1,566	6,000 5,399 9,285,767 5,691,277 1,221 	年間稼働時間を 6,000hと設定 (コンパインド導入量)× (年間全負荷時間) *4 *5 *6  「10°9kcal 10°9kcal	0.2146
年間全負荷時間 年間発電監保箱) 年間発電監保箱) 年間然和計算量(累積) 年間然利削減量 年間CO2削減量 4 控量消費量=年間発電監(GWh)/コ *5 従来で力発電設備の発電効率を31% 年間燃料利減量=年間発電監(GWh/ *6 燃料を1.NGと設定。CO2原単位は、( I.NGCO2原単位は、( I.NGCO2原単位は、( 「大然ガス系) 年度 鉄鋼 塞楽 窓楽 紙・パルプ 化学工業 全属機械 非鉄金属 食品 繊維 その他製造 合計 (発電導入量) 年度 鉄鋼 塞奏・窓楽	GWh/年 Gcal/年 Ft-CO2/年 ンパイント発電電シ .2146g-C/kcal. 2.79 が成比で割り振ると 構成比 58.7% 16.5% 0.0% 0.0% 2.78 2.8% 8.7% 10.3% 10.3% 6.3% 10.3	6,000 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	6,000 107 200,509 97,020 21 3との差により燃料削減 Wh) ーコンパインド燃料 ×発熱量 2000年 57 16 0 0 3 3 3 8 10 0 97	6,000 1,594 2,885,157 1,565,731 336 量を算定. 料消費量(Gcal) 13000 2005年 919 258 0 0 0 4 43 43 136 162 4 1,566	6,000   5,399   9,285,767   5,691,277   1,221 	年間稼働時間を 6,000hと設定 (コンパインド導入量)×(年間全負荷時間) *4 *5 *6  10 9 kcal 10 10 8 kcal	0.2146
年間全負荷時間 年間発電監保網的 中間発電監保網的 年間燃料列號競 (架積) 年間燃料列號競 (平間) *5 徒来产力発電設備の発電効率を31% 年間燃料列號競 - 年間発電量(GWh)/コ *5 徒来产力発電設備の発電効率を31% 年間燃料列號監 - 年間発電量(GWh) *6 燃料を1.NGと設定 - CO2原単位は、6 1.NGCO2原単位 *6 大路のと設定 - CO2原単位は、6 (天然ガス系) 年度 鉄調 霊変・霊業 紙・バルブ 化学工業 全属機械 非飲金属 食品 繊維 その他製造 合計 (発電導入量) 年度 鉄調 霊変・窓 変 ・バルブ 化学工業	GWh/年 Gcal/年 デt-CO2/年 デt-CO2/年 デt-CO2/年 デt-CO2/年 デt-CO2/年 デオート 対のではで記り振ると 構成比 58.7% 16.5% 0.0% 2.78 2.78 10.3% 10.3% 10.0% 横成比 58.7% 10.3% 10.0% 10.0%	6,000 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	6,000 107 200,509 97,020 21 3との差により燃料削減 Wh) ーコンパインド燃料 ×発熱量 2000年 57 166 0 0 0 3 3 8 10 0 97	6,000 1,594 2,885,187 1,565,731 336 量を算定. 計消費量(Gcal) 13000 2005年 919 258 0 0 43 43 136 162 4 1,566 2005年 156 44	6,000   5,399   9,285,767   5,691,277   1,221 	年間稼働時間を 6,000hと設定 (コンパインド導入量)×(年間全負償時間) *4 *5 *6  「10°9kcal 10°9kcal	0.2146
年間全負荷時間 年間発電量 保幕的 中間発電量 保幕的 中間発電量 保幕的 中間然和計算量 (累積) 年間然科的減量 年間CO2 削減量 4 悠量消費量 = 年間発電量 (GWh) / つ * * * * * * * * * * * * * * * * * * *	GWh/年 Gcal/年 Ft-CO2/年 デモ-CO2/年 テレバイント発電変 .2146g-C/kcal 2.79 が成比で割り振ると 構成比 58.7% 16.5% 0.0% 0.0% 2.78 2.8% 8.7% 10.3% 100.0% 10	6,000 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	6,000 107 200,509 97,020 21 3との差により燃料削減 Wh) ーコンパインド燃料 ×発熱量 2000年 57 16 0 0 3 3 3 8 10 0 97	6,000 1,594 2,885,157 1,565,731 336 量を算定. 料消費量(Gcal) 13000 2005年 919 258 0 0 43 43 1366 162 4 1,566 44 0 0 0 0 7	6,000 5,399 9,285,767 5,691,277 1,221 	年間稼働時間を 6,000hと設定 (コンパインド導入量)×(年間全負荷時間) *4 *5 *6  10 9 kcal 10 10 8 kcal	0.2146
年間全負荷時間 年間発電量 累積) 中間発電量 累積) 中間影響 (累積) 中間影響 (累積) 中間影響 (東南) 中間 (大陸 計算量 (スペー) / コー (大陸 計算量 (スペー) / コー (スペー) (	GWh/年 Gcal/年 「Gcal/年 手t-CO2/年 ンパインド発電効 と設定・2・アイトを電効 1.2146g-C/kcal 2.79 減比で割り振ると 構成比 58.7% 16.5% 0.0% 2.73 10.35 10.35 10.0% 横成比 58.7% 10.35 10.0% 2.8% 8.7% 10.35 10.0% 2.8% 10.0% 2.8%	6,000 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	6,000 107 200,509 97,020 21 3との差により燃料削減 ※発熱量 2000年 57 16 0 0 3 3 8 10 0 97 2000年	6,000 1,594 2,885,157 1,565,731 336 量を算定. 計消費量(Gcal) 13000 2005年 919 258 0 0 0 4 43 43 43 43 43 43 43 43 43	6,000   5,399   9,285,767   5,691,277   1,221 	年間稼働時間を 6,000hと設定 (コンバインド導入量)×(年間全負荷時間) *4 *5 *6  10 '9 kcal	0.2146
年間全負荷時間 年間発電旅 保箱) 中間発電旅 保箱) 中間然和が (	GWh/年 Gcal/年 デt-CO2/年 デt-CO2/年 デt-CO2/年 デt-CO2/年 デt-CO2/年 デt-CO2/年 シバインド発電効 と設定・エップト カノ度存発電効 1.2146g-C/kcal 株成比 58.7% 16.5% 0.0% 2.7% 2.7% 10.3% 0.3% 100.0% 横成比 58.7% 16.5% 0.0% 2.7% 10.3% 0.3% 100.0%	6,000 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	6,000 107 200,509 97,020 21 3との差により燃料削減 Wh) - コンペインド燃料 ×発熱量 2000年 57 16 0 0 3 3 8 8 8 10 0 97 2000年 10 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	6,000 1,594 2,885,187 1,565,731 336 量を算定. 計消費量(Gcal) 13000 2005年 919 258 0 0 43 43 43 136 162 4 4,566 44 40 0 0 7 7 7	6,000 5,399 9,285,767 5,691,277 1,221 	年間稼働時間を 6,000hと設定 (コンパインド導入量) × (年間全負償時間) *4 *5 *6  「10°9kcal 10°9kcal	0.2146
年間全負荷時間 年間発電監 累積) 中間発電監 累積) 年間然和計算量(累積) 年間然利利減量 年間CO2削減量 4 控量消費量=年間発電監(GWh)/= 85 後来代力発電設備の発電効率を31% 年間燃料利減量=年間発電監(GWh/ ※6 燃料を1.NGと設定。CO2原単位は、(INGCO2原単位は、INGCO2原単位は、(INGCO2原単位は、(INGCO2原単位は、(INGCO2原単位は、(INGCO2原単位は、(INGCO2R)) 年度 紫瀬 宝宝 東京	GWh/年 Gcal/年 Ft-CO2/年 シバイント発電変シンパイント)/既存発電効 .2146g-C/kcal 16.5% 0.0% 0.0% 2.7% 2.8% 8.7% 10.3% 100.0% 6.3% 100.0% 2.8% 2.8% 8.7% 10.3% 100.0% 2.7% 2.8% 8.7% 10.3% 100.0% 2.8% 8.7% 10.3% 100.0% 100	6,000 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	6,000 107 200,509 97,020 21 3との差により燃料削減Wh) - コンパインド燃料 ×発熱量 2000年 57 16 0 0 0 3 3 3 8 10 0 97 2000年 10 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	6,000 1,594 2,885,157 1,565,731 336 量を算定. 料消費量(Gcal) 13000 2005年 919 258 0 0 43 43 136 6 162 4 4 1,566 4 4 0 0 0 0 7 7 7 7 7	6,000 5,399 9,285,767 5,691,277 1,221 	年間稼働時間を 6,000hと設定 (コンパインド導入量) × (年間全負荷時間) *4 *5 *6  10 9 kcal 10 10 kcal 10 10 kcal 10 Mary Mary Mary Mary Mary Mary Mary Mary	0.2146
年間全負荷時間 年間発電量 累積) 中間発電量 累積) 中間然和消費量 (累積) 中間然利利強量 (累積) 年間CO2 削減量 4 控量消費量 = 年間発電量 (GWh) / コ 56 後来代力発電設備の発電効率を31% 年間燃料削減量 = 年間発電量(GWh) 66 燃料を1.NGと設定。CO2原単位は、( I.NGCO2原単位は、( I.NGCO2原単位は、( 「大然ガス系) 年度 鉄鋼 塞変 窯変 紙・バルブ 化学工業 全属機械 非飲金属 食品 繊維 その他製造 合計 (発電導入量) 年度 鉄鋼 塞変 窯変 紙・バルブ 化学工業 金属機械 非飲金属 食品 繊維 その他製造 合計 (発電導入量)	GWh/年 Gcal/年 デt-CO2/年 デt-CO2/年 デt-CO2/年 デt-CO2/年 デt-CO2/年 デt-CO2/年 デt-CO2/年 シバインド発電効 2.79 が成年で配り振ると 構成比 58.78 16.58 0.08 2.78 10.38 10.38 10.08 10.08 2.88 8.78 10.38 10.08 2.88 8.78 10.38 10.08 2.88 8.78 10.08 2.88 8.78 10.08 2.88 8.78 10.08	6,000 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	6,000 107 200,509 97,020 21 3との差により燃料削減 Wh) ーコンパインド燃料 ×発熱量 2000年 57 16 0 0 3 3 3 8 10 0 97 2000年 10 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	6,000 1,594 2,885,157 1,565,731 336 量を算定. 計消費量(Gcal) 13000 2005年 919 258 0 0 4 43 136 162 4 4 1,566 4 4 0 0 0 7 7 7 7	6,000   5,399   9,285,767   5,691,277   1,221	年間稼働時間を 6,000hと設定 (コンバインド導入量) × (年間全負荷時間) *4 *5 *6  6  8  10 9 kcal 10 10 9 kcal	0.2146
年間全負荷時間 年間発電監保箱) 年間幾種計算量(累積) 年間然和制度計算量(累積) 年間然利利減量 年間CO2削減量 4 然量消费量=年間発電量(GWh)/= *5 後来代力発電設備の発電効等を31% 年間燃料利減量=年間発電量(GWh)/ *6 燃料をLNGと設定。CO2原単位は、 LNGCO2原単位は、 LNGCO2原単位は、 (天然ガス系) 年度 鉄鋼 窓変・窓変 低・パルプ 化学工業 金属機械 非鉄金属 金属機械 非鉄金属 金属機械 非鉄金属 機械 非鉄金属 機械 非鉄金属 最麗	GWh/年 Gcal/年 Ft-CO2/年 シバイント発電変シンパイント)/既存発電効 .2146g-C/kcal 16.5% 0.0% 0.0% 2.7% 2.8% 8.7% 10.3% 100.0% 6.3% 100.0% 2.8% 2.8% 8.7% 10.3% 100.0% 2.7% 2.8% 8.7% 10.3% 100.0% 2.8% 8.7% 10.3% 100.0% 100	6,000 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	6,000 107 200,509 97,020 21 3との差により燃料削減Wh) - コンパインド燃料 ×発熱量 2000年 57 16 0 0 0 3 3 3 8 10 0 97 2000年 10 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	6,000 1,594 2,885,157 1,565,731 336 量を算定. 料消費量(Gcal) 13000 2005年 919 258 0 0 43 43 136 6 162 4 4 1,566 4 4 0 0 0 0 7 7 7 7 7	6,000   5,399   9,285,767   5,691,277   1,221	年間稼働時間を 6,000hと設定 (コンパインド導入量) × (年間全負荷時間) *4 *5 *6  10 9 kcal 10 10 kcal 10 10 kcal 10 Mary Mary Mary Mary Mary Mary Mary Mary	0.2146
年間全負荷時間 年間発電旅 保稿) 年間発電旅 保稿) 年間然和前療量 (累積) 年間然利削減量 年間CO2削減量 年間CO2削減量 ・ 1 然量消費量 (	GWh/年 Gcal/年 デt-CO2/年 デt-CO2/年 デt-CO2/年 デt-CO2/年 デt-CO2/年 デt-CO2/年 デt-CO2/年 シバインド発電効 2.79 が成年で配り振ると 構成比 58.78 16.58 0.08 2.78 10.38 10.38 10.08 10.08 2.88 8.78 10.38 10.08 2.88 8.78 10.38 10.08 2.88 8.78 10.08 2.88 8.78 10.08 2.88 8.78 10.08	6,000 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	6,000 107 200,509 97,020 21 3との差により燃料削減 Wh) ーコンパインド燃料 ×発熱量 2000年 57 16 0 0 3 3 3 8 10 0 97 2000年 10 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	6,000 1,594 2,885,157 1,565,731 336 量を算定. 計消費量(Gcal) 13000 2005年 919 258 0 0 4 43 136 162 4 4 1,566 4 4 0 0 0 7 7 7 7	6,000   5,399   9,285,767   5,691,277   1,221	年間稼働時間を 6,000hと設定 (コンバインド導入量) × (年間全負荷時間) *4 *5 *6  6  8  10 9 kcal 10 10 9 kcal	0.2146